

◆アイデアの時代

今、ビジネスに求められるのは優れたアイデア。Amazonもマイクロソフトもアップルも、凄いのはアイデアを飛躍的に膨らませたことであり、資産や名声はその

↑ ナビゲーター

結果に過ぎない。また、発想力を鍛える類の本や研修は多く、リーダーは常にアイデアを求める。また産業カウンセラー協会でも、研修企画やイベント企画にのみならず、組織経営においてもいろいろなアイデアは必要。

理論と実践 産業カウンセリング 私の実践

◆ 3

◆量が大事

イノベーションには常識を疑う過程が伴う。ただ全部疑うのは非効率。そこで、普遍性の程度が低い常識から順に引つかかってみる。例えば回転寿司は、対面接客が常識の寿司店主が、取引先のビール会社の工場見学でベルトコンベアを見て、職人一人で大勢に提供できるとひらめいたのが元。こうした組み合わせについてステイブ・シヨブズは、創造とは新しい何かを生

夢のお告げ

超簡単アイデア抽出法

み出すことではなく、新しい組み合わせを作ることだと言っている。

ここで大事なのが組み合わせの数。なぜなら10の素材の組み合わせは45通りだが、100なら4950。アイデアの素材を10倍にすれば結果は100倍。現に傑作を残した偉人は作品量も多く、バッハは1000、ゴッホは2000、エジソンは1300、ピカソは14万と言われる。

つまりアイデアが欲しいなら、ひらめきを増やせばいい。その方法を紹介する。

◆ぼんやり

「一生懸命考えてる時より、ぼんやりしてる時にひらめく」なんて話がある。実際、良いアイデア、意表を突くアイデア、突破力あるアイデアは常識を取り払った時に生まれやすい。

そこで脳の働き。左脳は言語や論理的思考・右脳は感性や空間認知などの専門があり、普段は左右をつなぐ脳梁で情報交換している。しかし、リラックスすると右脳が優位になり、自由な発想が生まれやすいと言われる。ならば、

右脳が優位になる直前に仕掛けて体験は誰にもあるはず。もしかしたらイノベーションにつながるたかももしれない。

◆質問する

リラックスと言えば睡眠。就寝前にアイデアが欲しいテーマを自問する。すると理屈屋の左脳が働き始めるから眠って休んでもらい、眠っている間にひらめく感じ……。

「夢でお告げがあった」なんて話は昔からある。他には風呂やトイレなど、一人ホッとする前もいい。

たけど思い出せない」なんて体験は誰にもあるはず。もしかしたらイノベーションにつながるたかももしれない。

◆組み合わせる

メモがたまれば、意識明瞭な時に左脳を使い組み合わせる。ただ、常識にとらわれて潰しては意味がないので、甘く緩く分類して関連付ける。それが提案につながれば右脳は喜び、さらにひらめきやすくなる。超簡単アイデア抽出法。お試しあれ！

ひらめいたら即記録。ド

ラム「ガリレオ」の湯川先生
M)代表・キャリアアコンサルタント 三浦房市
(火曜日に掲載)

